

施策評価シート【分野別施策】

施策名			関係部				
3-④	快適な生活環境の形成を推進する		環境部、まちづくり政策部、土木部				
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	計画 策定時	実績値				目標値 31 年度
			27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	
橋りょう長寿命化の実施率	%	4	4	4			53
公共下水道（合流区域）長寿命化の整備進捗率	%	4	7	8			37
自転車関連事故の発生件数（年間）	件	381	306	287			260
駅周辺の放置自転車台数	台	296	120	103			180
関連事業							
○環境美化支援事業○景観形成推進事業○放置自転車等対策事業○ノンステップバス推進事業○バリアフリー促進事業○自転車通行帯整備事業○橋りょう長寿命化修繕事業○公共下水道管路長寿命化対策事業○公共下水道ポンプ場耐震長寿命化対策事業							
決算額							
	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度			
事業費（千円）	213,332						
執行率（%）	48.57						
施策の推進に向けた主な取組の「成果」							
●これまで整備した各駐輪場の利用の促進を図りながら、自転車等放置禁止区域での放置自転車等への警告・指導・撤去を実施した結果、自転車の放置台数は昨年の同時期と比較し、17 台減少しました。 ●平塚市バリアフリー推進協議会を開催し、各事業者の進捗管理や情報共有、利用者側との意見交換を行うとともに、平成 29 年度に実施を予定しているまちの点検や事業計画の見直しの方針について検討しました。 ●バス事業者に対してノンステップバスの導入を補助し、18 台が導入されました。 ●後谷八幡裏線ほか 3 路線の自転車通行帯の整備を行い、自転車走行環境の向上を図りました。 ●23 橋の点検及び馬入本町架道橋などの補修工事に着手するとともに、東海架道橋の補修設計及び 42 橋の点検を完了し、橋りょうの長寿命化を図りました。 ●下水道管路の長寿命化対策工事を 382m 発注し、その内 41m が完了しました。							

- 景観条例等に基づく届出者に対し、周辺景観との調和や緑化の推進などについて誘導を行いました。また、駅周辺の公共施設案内サインについて、海拔や多言語表記を追加するなどのリニューアルに着手しました。
- 清掃活動やクリーンキャンペーン等の啓発活動を行うとともに、美化推進モデル地区4地区の活動に対して必要な支援を行いました。

施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」
●駅南側の通勤通学者の自転車利用台数に見合った駐輪場を確保する必要があります。また、自転車利用のルールやマナーの向上が必要です。 ●重点的かつ一体的なバリアフリー化を推進するため、各施設設置管理者の事業計画を情報共有するとともに、利用者側の意見を取り入れながら取組を進める必要があります。 ●自転車通行帯の整備は、限られた道路空間で行うことから、利用実態や費用対効果等を見極めながら整備形態を選定する必要があります。 ●橋りょうや下水道施設について、事故の未然防止、ライフサイクルコストの低減及び事業費の平準化のため、予防保全型の計画的な維持管理が必要です。 ●周辺景観との調和や配慮事項等について事業者や市民等に対して啓発を行い、良好な景観形成に対する意識の向上を図ることが必要です。 ●環境美化は生活に身近な課題であるため、市民との協働による取組が必要です。	●駅南側の駐輪場については、平塚市自転車利用環境推進計画に基づき、駐輪場の新設や既設駐輪場の改修を検討し、整備の方向性を示します。また、自転車利用者への啓発事業を継続するとともに、放置自転車等の撤去徹底を図ります。 ●誰もが移動の安全性と快適性を享受できるよう、平塚市バリアフリー推進協議会を開催し、段階的かつ継続的にバリアフリー化していくように進捗管理を行うとともに、バス事業者に対して必要な支援を行います。 ●平塚市自転車利用環境推進計画に基づき、警察協議や地元調整を踏まえ、設計及び整備を実施します。 ●橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、橋りょうの点検調査により損傷状況を把握し、効率的な修繕を行います。また、下水道施設のストックマネジメント実施方針を策定するほか、東部ポンプ場の建物の耐震化、汚水及び雨水ポンプの長寿命化等を図ります。 ●景観計画及び景観条例による届出の手続きにおいて、指導や助言を行うほか、景観づくりアクションプランを推進することにより、意識の向上を図ります。 ●地区美化推進委員会や美化推進モデル地区の活動を支援し、市民の美化意識の高揚と自主的な美化活動を促進します。